

(交付金・企業版ふるさと納税寄付金 活用事業)

## まちのにぎわい創出事業費

1億132万9千円

長崎スタジアムシティ開業による経済効果を最大化し地域経済等あらゆる分野への波及を目指し、「まちのにぎわい創出」へ繋げていくための各種事業を行います

### Bリーグオールスター2026関連事業

プロバスケットボールリーグ（Bリーグ）のオールスターゲーム2026の長崎開催に併せて、被爆80周年記念事業や、市内回遊を促進するイベント等の開催、気運醸成のための事業を実施



※写真は船橋市の事例

### 長崎スタジアムシティ内での魅力発信

スタジアムシティを訪れるアウェイサポーター等に対し長崎市の特産品や観光地といった魅力を発信する柱広告などを実施

### ふるさと納税返礼品活用事業（観戦シート）

スタジアムとアリーナの観戦シートをふるさと納税返礼品として活用

### まちなか周遊シャトルバスの運行【※R7.1月補正繰越】

市内回遊促進を目的として、まちなかとスタジアムシティを結ぶ直行シャトルバスを運行

## 子ども体験創出事業費

2,860万4千円

長崎スタジアムシティと連携して新たな「子どもの体験」の場を創出し、多様な学びに繋げていくための各種事業を行います

内容  
例

アイスショー実施後のスケートリンクを活用して市民の体験の場を創出、長崎ゆかりの著名スポーツ選手によるスポーツ体験教室開催 等



## 商店街等プレミアム付商品券発行支援費補助金

3億6,000万円(2月補正)

長引く物価高騰の影響を受けている事業者と市民の生活を支えるため、商店街や各業界団体が地域の実情に応じて実施する**プレミアム付商品券等の発行**を支援し、地域経済の活性化を図るとともに、電子による発行を促すことで、商店街等のデジタル化を進めます。



対 象 者

商店街、各業界団体



補 助 率

9/10



補助限度額

紙の商品券を導入：1,400万円

電子商品券を導入：1,800万円



## 企業連携型奨学金返還支援事業費 1,753万4千円

若年者の地元就職・定着やU I J ターンの促進を図るため、奨学金返還支援制度を有する企業等に対し、奨学金返還支援に係る費用の一部を補助します。

### 対象奨学金

- 独立行政法人日本学生支援機構が貸与する奨学金
- 地方公共団体、民間企業、公益法人、その他団体が貸与する奨学金

※医療・福祉などの特定分野や企業等の人材確保などを目的とする奨学金で返還を免除されるものは対象外

### 対象事業者

«次の要件をみたすもの»

- 雇用保険の適用事業主である
- 県内に事業所を有する
- 奨学金返還支援制度を有し、対象従業員へ代理返還または手当等の給付を行っている

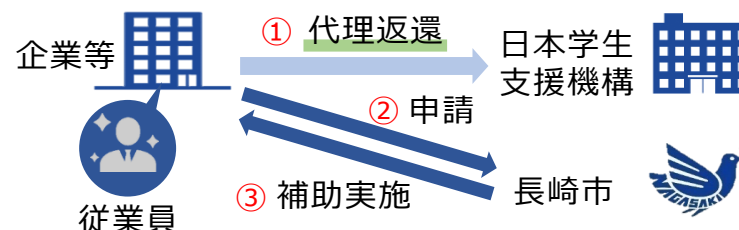
### 補助金額

«次のいずれか低い方»

※上限額：8万円/人、交付期間：最大5年間/人

- ① 前年度の奨学金返還額に3分の1を乗じた額
- ② 対象事業者が対象従業員に支給した額に2分の1を乗じた額

### 補助実施イメージ



### 対象従業員

«次の要件をみたすもの»

- 正規雇用者
- 長崎市内に居住している
- 35歳未満
- 奨学金を延滞していない

【対象外】他の返還支援制度を利用している方

👉 代理返還とは・・・

従業員の奨学金返還残額を、企業等が日本学生支援機構へ直接送金する制度



## 五歳児健康診査費

3,607万3千円

5歳児を対象に新たに健康診査を実施し、日常生活上での困り感等について早期に把握し、こどもの発達に関する相談の機会とするとともに、保護者の気づきに寄り添い、小学校就学に向けて個々の支援につなげます。

 **対 象** 実施年度に満5歳になる幼児  
約2,500人/年

 **実施方法** 集団健康診査（令和7年6月開始予定）

 **実施場所** 4 総合事務所 5 会場 年間122回  
**実施回数**

- ・市役所 2階 乳幼児健診室
- ・東部地区にここセンター
- ・健康づくりセンター（布巻町）
- ・三重地区市民センター
- ・琴海南部文化センター

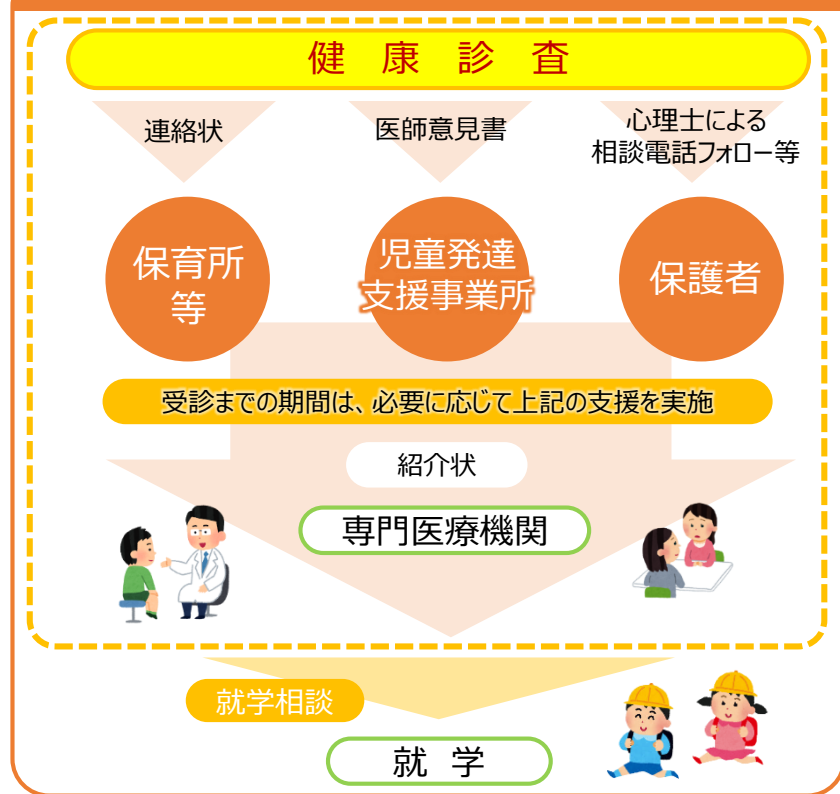
 **健診項目**

- ・身体発育状況や栄養状態
- ・精神発達の状況・言語障害の有無
- ・生活習慣の自立・社会性の発達 など

\* 保護者及び園から日頃の様子等の情報について  
質問票により事前收受

\* 健診後は多職種による事後カンファレンス実施

### 要支援者のフォロー



## 障害福祉センター運営費

- ・ 障害児通所支援費
- ・ 診療所費
- ・ 相談支援費

1 億 313万 7 千円

1 億6,868万 9 千円

3,460万 8 千円

障害福祉センターにおいて、（仮称）長崎市こども発達センターを開設し、専門職員の増員や早期診療、療育を行うとともに、気軽に相談できる体制の整備及び関係機関への指導助言等を行い、こどもの発達に不安を抱える保護者を支援します。（1,571万7千円）

### （仮称）長崎市こども発達センターにおけるこども支援機能の充実

#### ①児童発達支援センター（さくらんぼ園）機能拡充

- ・ 保育士等の充実による良質なサービスの提供
- ・ 保育所等訪問支援の実施
- ・ 地域障害児支援体制強化事業実施

【令和7年度人員体制の充実】  
保育士の正規化 4名



#### ③相談機能の充実

- ・ 相談員の充実
- ・ こどもの発達などに関する相談体制の充実

【令和7年度人員体制の充実】  
社会福祉士 1名増



#### ②診療所機能の充実

- ・ 専門職員の充実による診療待機期間の縮小

【令和7年度人員体制の充実】  
クラーク（医療補助者）1名増



#### ④その他

- ・ 発達障害に対する市民への普及啓発の取組み
- ・ 地域における障害児支援の質の向上
- ・ こども発達センターの愛称の制定

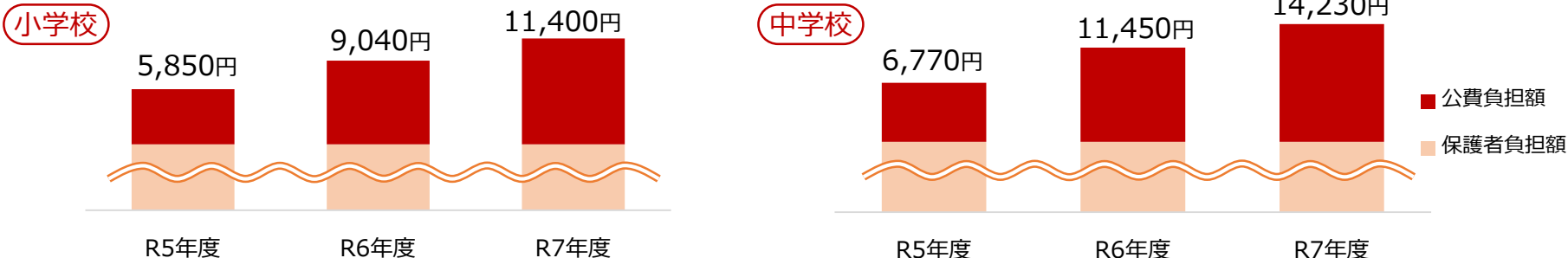


物価高騰による子育て世帯の経済的負担を抑えるため、学校給食と保育所等の副食費（おかず、おやつ代）における食材価格高騰分を支援します。

## 給食食材等調達費

3億 1,598万円

学校給食費の公費負担額の推移（一人当たりの年額）



※保護者負担額は平成20年度から据え置き（小学校 41,800円 中学校 48,400円）

|           | R5年度      | R6年度      | R7年度      |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 公費負担額（総額） | 178,100千円 | 256,825千円 | 315,980千円 |

## 民間保育所等副食費支援補助金

7,127万 8千円

保育所等副食費の公費負担額の推移（一人当たりの年額）

| 利用形態      | 種別     | R6年度     | R7年度     |
|-----------|--------|----------|----------|
| 教育利用      | 公費負担額  | 2,761円   | 7,535円   |
|           | 保護者負担額 | 32,780円  | 32,780円  |
| 保育利用      | 公費負担額  | 3,888円   | 10,176円  |
|           | 保護者負担額 | 60,000円  | 60,000円  |
| 公費負担額（総額） |        | 28,027千円 | 71,278千円 |

# 令和7年度 当初予算の概要

(アクションプラン以外)

# DX パッケージ 2025

## 長崎市DX推進計画の概要 (令和4(2022)年度～令和12(2030)年度)

### 領域

### 分野

### 基本方針

<コンセプト>

「人」が主役のまちづくりをデジタル技術で加速させる

デジタル化で何をを目指すの?

デジタル化で変わる市民の暮らし

### 暮らし × デジタル

= 地域の課題が解決され  
自分らしい暮らしが実現

デジタル化で変わる訪れる人の過ごし方

### 交流 × デジタル

= 多様なつながりと  
新たな体験・価値を実感

デジタル化で変わる市役所

### 行政 × デジタル

= 一人ひとりにあった  
利用しやすい行政サービス

### 生活



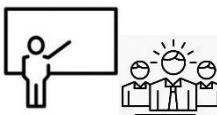
利用者に寄り添ったサービスを提供します

### 産業



都市の力を活かし、産業とまちの活力を高めます

### 人材



未来を見据え、次代を担う人を育てます

### 交流



まちの魅力を磨き、人々に付加価値を提供します

### 行政



スマート市役所への変革と都市の基盤整備を推進します

## 令和7年度～9年度の重点施策

市民アンケートの結果からデジタル化で見込まれる効果が高い施策を、3年間で重点的に取組みます。

### 重点施策

#### 1 安全・安心で快適な環境の整備

市民の生活を支える環境の整備にデジタル技術が活用され、安心に暮らせると感じている市民が増加している状態を目指します

#### 2 サービスの情報発信と快適な利用のサポート

デジタル技術を利用できる人とそうでない人との間の情報格差が軽減され、必要な人に必要な情報が届いている状態を目指します

#### 3 産業のスマート化の推進

デジタル技術を取り入れて生産性向上等に取り組んでいる地場事業者が増えている状態を目指します

#### 4 新たな価値を生み出すチャレンジ環境の創出

チャレンジしやすい環境整備が進み、意欲ある人や企業のチャレンジが増えている状態を目指します

#### 5 便利で使いやすい行政サービスの最適化

便利で使いやすい行政サービスがより多くの人々に利用されるようになり、市民等の手続きに要する手間や時間が削減されている状態を目指します

### その他の主な取組

## 令和7年度に実施する事業予算 (DX パッケージ 2025)

総額 **36億299万6千円**

(令和6年度繰越予算・令和7年度当初予算)

### 令和7年度の主な取組

- 有害鳥獣捕獲確認アプリの実証試験
- 被災者台帳作成システム整備
- 水道立会受付webシステム導入

- 高齢者向けスマホサロンの実施支援
- 長崎市公式LINEによる情報発信

- 障害福祉サービス事業所のデジタル化支援
- 地場事業者へのデジタル化支援

- オープンイノベーション・スタートアップ支援
- 場の創出に向けた実証事業(テクノバ(ながさき))
- プログラミングコンテストの実施

- 地域センター等の窓口における公金支払いのキャッシュレス化
- 口座振替等WEB登録サービスの運用

- 情報システム標準化に向けた取組み
- 中学校の学習者用パソコン購入(更新)
- ふれあい訪問収集事業システム導入
- 道路占用管理システム導入

# 被爆80周年記念事業



|              |       |           |            |
|--------------|-------|-----------|------------|
| 被爆80周年記念 事業数 | 42 事業 | 事業費合計(R7) | 147,645 千円 |
|--------------|-------|-----------|------------|

(令和7年2月12日現在)

取組方針

1

原爆犠牲者を慰霊するとともに、ノーベル平和賞受賞を追い風に、被爆の実相を国内外に幅広く伝え、長崎の平和への思いを強力に発信する

| 主な事業           |                                                                                                        | 予算額 (千円) |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 新規             | 在外被爆者の平和祈念式典への招請及び被爆体験の継承                                                                              | 4,412    |
| 新規             | 長崎ピース・プレナー・フォーラム2025 及び<br>核戦争防止国際医師会議世界大会 in NAGASAKIにおける被爆の実相プログラムの実施                                | 4,000    |
| 拡大<br>新規<br>新規 | 戦艦ミズーリ記念館（ホノルル市）でのヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展<br>大阪・関西万博に合わせた大阪市でのヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展<br>国連大学（東京都）でのヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展 | 5,441    |
| 拡大             | 「長崎クスノキプロジェクト」プロモーション強化                                                                                | 16,647   |
| 拡大             | 広島・長崎連携観光キャンペーン事業                                                                                      | 10,000   |
| 新規             | 長崎平和ハーフマラソンの開催                                                                                         | 25,000   |

取組方針

2

被爆100年を見据え、被爆の実相を世代を超えて伝え続けるための取組み（場所、ヒト、モノ）を進める

| 主な事業 |                          | 予算額 (千円) |
|------|--------------------------|----------|
| 新規   | 原爆資料館展示更新実施設計（R7）        | 24,779   |
| 新規   | 原爆資料館展示更新制作施工（R8）※債務負担行為 | 476,200  |
| 拡大   | セントポール市学生の平和祈念式典への招請     | 1,784    |

## 在外被爆者の平和祈念式典への招請及び被爆体験の継承

(平和祈念式典行事費)

**441万2千円**

在外被爆者の方を平和祈念式典に招請するとともに、国外で生活した経験を踏まえた自らの被爆体験や平和への思いを語っていただき、被爆体験を継承する。

〔実施時期〕 令和7年8月

〔人 数〕 被爆者4名及び随行者（予定）



## 長崎ピース・プレナー・フォーラム2025及び核戦争防止国際医師会議(IPPNW)世界大会 in NAGASAKI における被爆の実相プログラムの実施

(平和推進活動費)

**400万円**

長崎で開催される2つの国際会議の場において、被爆の実相を伝えるプログラムを設け、多くの人に被爆者の声に耳を傾けていただく機会を創出する。

〔実施時期〕 長崎ピース・プレナー・フォーラム2025  
核戦争防止国際医師会議(IPPNW)世界大会

令和7年 5月  
令和7年10月

## 国内外でのヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展の開催

(ヒロシマ・ナガサキ平和アピール推進委員会負担金)

**544万1千円**

長崎市・広島市の共同事業として、パールハーバーの戦艦ミズーリ記念館での原爆・平和展、大阪・関西万博開催の機会を捉え大阪市において原爆・平和展、国連大学（東京都）において原爆写真ポスター展を開催する。

〔実施時期〕 ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展（ホノルル市）

調整中

ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展（大阪市）

令和7年8～12月(予定)

ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展（東京都）

令和7年夏頃

## 「長崎クスノキプロジェクト」プロモーション強化

(「長崎クスノキプロジェクト」推進費)

**1,664万7千円**

「長崎クスノキプロジェクト」をより多くの方に周知するため、総合プロデューサーの福山雅治氏と連携しライブ会場でのブース出展やラッピング電車の運行などのプロモーションを行う。

〔実施時期〕 令和7年8～12月

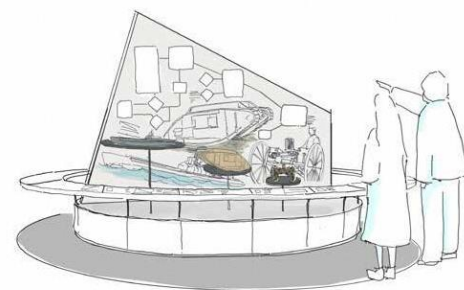


## 原爆資料館展示更新 実施設計業務委託

（【補助】平和施設整備事業費 原爆資料館）

**2,477万9千円**

長崎原爆資料館展示更新に関して、令和6年度に策定する基本設計に基づき、令和7年度は、展示構成・内容・手法をはじめ、工事のスケジュール等を具体化するための実施設計を策定し、令和8年度の工事完了を目指す。



〔目 的〕被爆の実相を伝え、平和を発信する拠点施設である「長崎原爆資料館」の展示内容について、更なる充実を図るため、原爆投下の背景や核兵器をめぐる国際情勢、核兵器廃絶に向けた取り組みなどを展示するCコーナー及びDコーナーを中心に展示更新を実施する。

〔実施時期〕令和8年3月（実施設計策定予定）

## セントポール市学生の平和祈念式典への招請

（平和祈念式典行事費）

**178万4千円**

セントポール市との姉妹都市提携70周年を記念し、セントポール市の学生を平和祈念式典へ招請し、日本の青少年との平和交流を通して、被爆の実相の継承を行う。

〔実施時期〕 令和7年8月

〔人 数〕 学生2名及び随行者

# 安全安心なまちづくり

## 有害鳥獣対策費

1 億172万 5 千円

イノシシの市街地等への出没が増えているため、生活環境被害対策を強化します。



### 事業概要

イノシシなど有害鳥獣による農業及び生活環境への被害対策として、「防護」、「捕獲」、「棲み分け」の3対策を基本に、地元の農業者や自治会等と連携した取組みを推進しています。農作物被害は減少傾向にありますが、イノシシに関する生活環境被害は増加傾向にあるため、従来の対策に加え、生活環境被害対策の強化に取り組みます。



### 強化のポイント

#### 防護対策

- ①市有地等における広域防護柵の整備計画策定のための調査・検討 **340万円**



市道や市有林などからの侵入を防止!!

- ②イノシシ防護柵の配布方法の見直し

配布・積込みにかかる  
労力や作業時間の減!!



#### 捕獲対策

- ③猟友会から推薦を受けた捕獲従事者に対するイノシシ捕獲報奨金の増

1 頭あたり**5,000円→5,500円**

- ④捕獲確認アプリの実証試験 **110万円**



農業者・地域住民

捕獲



リアルタイム  
で市に報告



# 防災・減災

## 災害対策活動費（孤立想定地域の予防と対策）

9,981万5千円（2月補正）

### 避難所の衛生・保健・医療環境整備

8,732万5千円

孤立地域発生時においても、避難所の衛生・保健・医療環境を適切に保つため、簡易ベッドやパーティション、簡易トイレを全ての指定避難所へ配置する。



簡易ベッド



パーティション



簡易トイレ

※イメージ

全指定避難所

※発災直後から  
利用可能



円滑な  
追加配備が  
可能に

その他市内各地に  
分散配置



倒木や電柱倒壊のリスク減による  
孤立地域発生可能性が低減



避難所の環境整備と孤立地域発生可能性の低減に繋がります

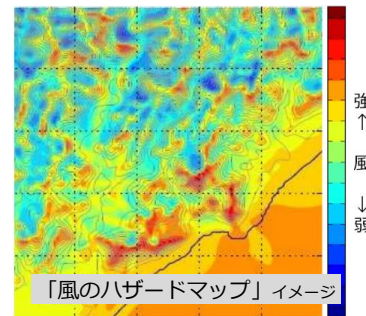
### 「風のハザードマップ」作成

1,249万円

台風時等の強風想定エリア「風のハザードマップ」を公表することで、風に対する市民の防災意識の啓発を行うとともに、倒木や電柱倒壊の発生予防対策を民間事業者に促す。



倒木の影響による電柱倒壊



「風のハザードマップ」イメージ

強  
↑  
風  
↓  
弱